

最先端の「空間情報科学」が地域を変える！

東京大学空間情報科学研究センター 公開イベント

～竹原市×東京大学 パートナーシップ協定に基づく取組～

1 要旨

3月5日から7日にかけて、東京大学空間情報科学研究センター（CSIS。関本義秀センター長）の研究者が竹原に一堂に会し、空間情報科学に関する研究成果等を共有します。この貴重な機会を活かし、3月6日（木）に市民向けの公開イベントを開催します。

本取組は、令和6年11月に竹原市と東京大学デジタル空間社会連携研究機構が締結したパートナーシップ協定に基づく取組です。空間情報科学に関する活動を共有し、竹原市におけるデータ活用の可能性を広げることを目的としています。

市民の皆様とともに、竹原の未来を考え、新たな取り組みのきっかけを生み出す場となることを目指します！

2 公開イベントの概要

（1）CSIS の概要、本市とのパートナーシップ協定の紹介

空間情報ってなに？ 協定の目的など、関本センター長がわかりやすく解説します！

（2）竹原市における活動事例の紹介

竹原市の事業者が進めるデータ活用による業務効率化の事例などを紹介します！

（3）CSIS の活動紹介

空間情報科学の活動内容を CSIS の研究者が紹介します！

（4）パネルディスカッション

「産学官連携によるデータを活用したまちづくり」をテーマに、
パネルディスカッションを行います！

3 日時・場所等

日時 令和7年3月6日（木）13時30分～16時45分（開場13時00分）

会場 竹原市役所 3階「大会議室」

参考（※）：東京大学デジタル空間社会連携研究機構

時空間ビッグデータに関連する分野横断的な学術研究を実施し、関連分野の研究者が一体となってリアルタイム時空間データ解析・応用の新たな展開を図ると共に、国際的な社会課題の解決を通じて研究成果を社会に還元するために設置された学内18部局が参加する組織。このうち、空間情報科学研究センターは、当該機構の中核を担う研究拠点。

問い合わせ

企画部 企画政策課 担当：吉本

T E L 0846-22-7729

東京大学空間情報科学研究センター

～竹原市×東京大学 パートナーシップ協定に基づく取組～ 公開イベント

日時
令和7年3/6(木)
13:30～

場所

竹原市役所
3F大会議室

入場無料！

最先端の「空間情報科学」が地域を変える！

3月5日から7日にかけて、東京大学空間情報科学研究センター（CSIS。関本義秀センター長）の研究者が竹原に一堂に会し、空間情報科学に関する研究成果等を共有します。この貴重な機会を活かし、3月6日（木）に市民向けの公開イベントを開催します。

本取組は、2024年11月に竹原市と東京大学デジタル空間社会連携研究機構が締結したパートナーシップ協定に基づく取組です。空間情報科学に関する活動を共有し、竹原市におけるデータ活用の可能性を広げることを目的としています。

市民の皆様とともに、竹原の未来を考え、新たな取り組みのきっかけを生み出す場となることを目指します！

●公開イベントの概要

(1) CSISの概要、本市とのパートナーシップ協定の紹介

空間情報ってなに？ 協定の目的など、関本センター長がわかりやすく解説します！

(2) 竹原市における活動事例の紹介

竹原市の事業者が進めるデータ活用した業務効率化の事例などを紹介します！

(3) CSISの活動紹介

空間情報科学の活動内容をCSISの研修者が紹介します！

(4) パネルディスカッション

「産学官連携によるデータを活用したまちづくり」をテーマに、
パネルディスカッションを行います！

東京大学デジタル空間

社会連携研究機構とは？

時空間ビッグデータに関連する分野横断的な学術研究を実施し、関連分野の研究者が一体となってリアルタイム時空間データ解析・応用の新たな展開を図ると共に、国際的な社会課題の解決を通じて研究成果を社会に還元するために設置された学内18部局が参加する組織です。このうち、空間情報科学研究センターは、当該機構の中核を担う研究拠点です。

東京大学空間情報科学研究センター公開イベント次第

日時：令和7年3月6日（木）13:30～16:45

会場：竹原市役所3階「大会議室」

開 場 13:00

1. 開会挨拶（関本センター長） 13:30～13:32
2. 竹原市の概要 13:32～13:40
3. CSISの概要と竹原市とのパートナーシップ協定（関本センター長） 13:40～14:00
4. 竹原市における活動事例の紹介
 - (1) DX推進による伴走型支援 データ分析による経営の数値化と検証 14:00～14:20
（竹原商工会議所 事務局長 田中雅一）
 - (2) 福祉施設での生産性向上を目指して 14:20～14:40
（中国新聞社福祉事業団 中国芸南学園 理事兼総括園長 石田文典）
 - (3) ウォークアブルなまちづくりについて 14:40～15:00
（竹原市都市整備課 専門員 伊藤大輔）

休 憩 15:00-15:10

5. CSIS活動の紹介
 - (1) 風景を読み解き、人と自然の関わりを可視化する 15:10～15:30
～地域社会に点在する空間情報の活用～
（東京大学 特任助教 矢澤優理子）
 - (2) 要配慮者とともに考える福祉防災とデータ活用 15:30～15:50
～研究と実践からの学び～
（東京大学 助教 ピニエイロ アベウ タイチ コンノ）
6. パネルディスカッション「産学官連携によるデータを活用したまちづくり」 15:55～16:45
登壇者：関本センター長、アベウ助教、田中事務局長、石田理事兼総括園長、今榮市長

閉 会 16:45



東京大学
空間情報科学研究センター
センター長 関本義秀



東京大学 空間情報科学研究センター
特任助教 矢澤優理子

風景の読み解きは、地域活性化に役立ちます！人と空間の関わりによって生まれる風景は、その地域が存在するのに「大変じゃない」状態を表しており、風景の読み解きは、地域経営で本来目指すべき人と空間の関係を理解するのに役立ちます。今回のイベントでは、報告者が取り組んできた人と川の関わりを事例に、空間情報を用いた地域理解の研究を紹介します。



東京大学 空間情報科学研究センター
助教 ピニエイロ アベウ タイチ コンノ

災害に備えて、高齢者や障がいのある方、乳幼児など支援が必要な人々をどのように守るか。誰一人取り残さない安心・安全な社会を目指し、地域のつながりやデータ活用を活かした福祉防災の取り組みを紹介します。自治体や地域コミュニティが協力する大切さを考えながら、私たちにできる防災の工夫について、一緒に考えてみませんか？

CSIS

共同利用・共同研究拠点 Joint Usage / Research Center
東京大学 The University of Tokyo
空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science

